

2018-19年度「五大北前船主の一人」

RI第2650地区 2019/4/26 12:30開会点鐘

第2170号 (幹事報告)



五大北前船主の一人「右近権左衛門」

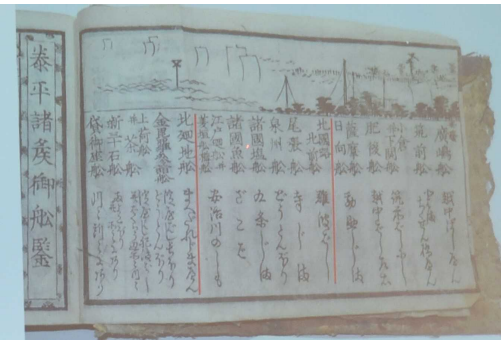
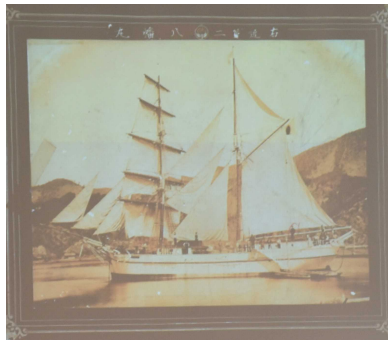
河野北前船研究会 右近恵氏

「河野の廻船業の始まり」
河野は、中世の朝倉氏時代から明治初期に至るまで、陸路を西街道で越前府中と結び、海路は天渡し船で敦賀と結中継地、交通の要所であった。

三國湊森田正治家文書「三国港から先は非常に急ぐので大船を待っていると遅れてしまうので、河野船を多数雇って敦賀まで運べ」

「河野は日本でも有数の北前船の船稼ぎ集落になったのは」

国府が置かれた越前府中とは西街道、敦賀とは船で結ぶ物流の中継地点、交通の要所、海の側に山が迫る土地柄のため河野では自給自足が出来ないそのため大きい船をもっていた



今回の卓話に出席された特別ゲスト



「平成31年4月26日 平成最後の～会長の時間～」

ロータリーソング

四つのテスト